

キプロス通信 Vol.14

~Ο ερχομός της άνοιξης~ 春の訪れ

下野市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会におけるキプロス共和国のホストタウンです。

暦の上では立春を迎えるとはいえ、日本ではまだまだ厳しい寒さが続く2月ですが、キプロスではこの時期になると、春の訪れを告げるアーモンドの花が山里で咲き始めます。

アーモンドの淡いピンクの花は、まるで尼寺の桜のよう。

レメソス郊外のアーモンドの名産地アノイラ村では、アーモンド祭りが開催されるそうです。花まつりを行う本市としても、親近感を覚えます。

アーモンドは花が美しいだけでなく、その種はお菓子の定番の素材です。アーモンドを使ったシュジュコやパステリなどの伝統菓子は、キプロス旅行のお土産として有名です。

シュジュコは、糸でつないだアーモンドに、小麦粉を加え煮詰めてドロリとさせたブドウジュースを何回にも分けて絡ませて作ります。独特の食感とブドウの自然の甘さ、ヘルシーなところも人気です。

春の行事には、ギリシャ正教の大事な催し「イースター（復活大斎）」があります。イースターに向けての40日間は、肉、卵、乳製品を食べない「断食」期間となり、その初日が「グリーンマンデイ」という祝日です。

キプロスでは、野菜やビーツ料理、果物、オリーブ、そしてグリーンマンデイのために焼いた特別な胡麻パンを持ってピクニックに出かけて、この日を過ごします。

グリーンマンデイ開催前の約10日間、キプロスの各地ではカーニバルが開催されます（今年は2月24日～3月6日）。中でもレメソスのカーニバルは盛大です。

カーニバルの期間中は色々なイベントがありますが、最後の日曜日には、仮装や思いきり趣向を凝らした衣装をまとった人々が大パレード（グランパレード）を練り広げ、観光客も一緒になって町は大いに盛り上がります。

アーモンドや桜の花が、春の訪れと共に、皆さまに明るい気持ちを運んできてくれることを願ってやみません。

キプロス冬の風物詩である渡り鳥ピンクフラミンゴの来訪。ピンクフラミンゴは10月頃からキプロスを訪れ、レメソスやラルナカの塩湖で3月頃まで羽を休めます。



満開のアーモンドの花（アノイラ村）



アーモンドのお菓子シュジュコ



カーニバルでの仮装の様子

写真提供：タイトル・中段 キプロス観光政務官組織
上段・下段 KNOSSOS TRAVEL